



トークを繰り広げた佐藤浩市さん(穂の国とよはし芸術劇場プラットで)

とよはしまちなかスロウタウン映画祭始まる

佐藤浩市さんがトークショー

「第19回とよはしまちなかスロウタウン映画祭」(同実行委員会主催)のオープニングイベントとして、俳優の佐藤浩市さんによるトークショーが1月31日、豊橋市西小田原町の穂の国とよはし芸術劇場プラットで開催された。佐藤さんが約1時間にわたって、自らの役者人生の今までとこれからについて語った。

(大林恭子)

役者人生など語る／会場は盛況で終わる

550人の観客を前に佐藤さんは、映画デビュー作となった「青春の門」などで何度も共演した故・若山富三郎さんとの

思い出を振り返り、「大切なことをたくさん教わった。何度も目かの共演の後、『あいつ、役者になったな』とおっしゃって

いたと聞いたときは感無量だった」と話した。役者人生で重要だったのは出会いだと話し、「自分に欠けていたものを補うような作品、脚本に出会

えたことは大きな財産。努力を誰かが見ている、出会いを連れて来てくれる。そういう意味で幸運だったと思う」と振り返った。

今後やりたい役について問われると「ある意味で突き抜けた、映画の中でしか存在できないようなハチャメチャな人間を演じてみたい」と意欲を見せた。最後にはファンのために壇上で撮影に応じ、盛況のうちに幕を閉じた。

この日会場では、佐藤さん主演の映画「愛を積むひと」(2015年、朝原雄三監督)と、豊橋ロケで話題になった「陽気なギャングが地球を回す」(2006年、前田哲監督)の2本も上映された。